

西原村議会だより

# ゆうすい

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

第115号 令和元年11月7日発行

## CONTENTS

- ◆ 9月定例会／P2～3
  - ・平成30年度一般会計決算認定
  - ・平成30年度特別会計決算認定
- ◆ 9月定例会／P4～5
  - ・平成30年度一般会計・特別会計 質疑応答
- ◆ 9月定例会／P6～7
  - ・令和元年一般会計補正予算可決
  - ・令和元年特別会計補正予算可決
  - ・質疑応答
- ◆ 一般質問／P8～9
  - ・東海大学農学部新キャンパス開設に伴う本村の受入れは？
  - ・高齢者への運転免許証自主返納対策
  - ・宅地耐震化推進事業の進捗状況
  - ・総務福祉委員会研修レポート／P10
  - ・切らずに治すガン治療!!
- ◆ 組合議会報告／P11
  - ・益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会報告
  - ・よっていきなっせ／P11
- ◆ グリーンロード沿い展望所
- ◆ 職場からこんにちは・編集後記／P12

NO.115  
2019.11.7

西原の明日を担う!!

元気いっぱい  
瞳輝く子ども達!!



# 復興のトップランナーと評され3年が経過。 今後もスピード感を持って復興のゴールを目指す!!

## 宅地再生事業は入札済70%越え、 木造仮設住宅改築も年末には入居へ!!

震災から3年4ヶ月経過した本年8月末時点において、宅地再生事業は入札が約70%を終え、工事も急ピッチで進んでいる。木造仮設住宅を単独村営住宅へと活用するための改築工事も9月中旬に入札され、改修され次第順次入居できる。

県道28号線も依山トンネルルートが9月14日全線開通した。また土林・杉堂間は3月末完成に向け一步一步確実に進んでいる。大切畑ダム復旧を除き、復旧復興への道のりは終盤を迎えた。引き続き被災者の自宅再建と生活再建に向け全力で進めていく。

決算認定において、一般会計では、実質収支額で6億8千万円強の黒字となり、他5つの会計においても黒字決算となり、認定した。各会計決算状況は次の通り

### 平成30年度一般会計決算

	歳入	歳出	翌年度繰越額
一般会計	122億581万円	112億5,988万円	6億8,146万円

### 平成30年度特別会計決算

	歳入	歳出	翌年度繰越額
国民健康保険	9億5,738万円	8億6,732万円	9,006万円
介護保険	7億9,554万円	7億4,361万円	5,193万円
後期高齢者医療	1億6,876万円	1億6,518万円	358万円
中央簡易水道事業	1億 647万円	9,063万円	1,583万円
工業用水道事業	2,086万円	1,379万円	707万円

## 9月 定例会

9月定例会が10日～20日の11日間開催  
平成30年度一般会計・各特別会計の決算認定と健全化判断比率及び資金不足比率の報告等、認定6件、報告1件・承認1件・令和元年度一般会計補正予算他議案16件・同意1件を審議し、すべて原案通り可決した。一般質問は2人が登壇し村政全般を質した。

# 特別会計(5会計)決算確定に伴う課題等

## ■国民健康保険

平成30年度より持続可能な社会保障制度を確立するため「熊本県国民健康保険団体連合会」としてスタートしている。

医療費の高騰は続くが、震災に伴う減免措置等がなくなり税収が3千4百万円増となった。

医療費負担も同じくで保険給付費も震災前に近づいている。

今後も生活習慣病予防対策・特定検診の受診率を向上させ早期治療に繋げ医療費抑制に努めること。

## ■介護保険

平成29年度までは熊本地震の影響による保険料の減免措置により現年度保険料の調定額が例年より減少していた。

平成30年度は「介護保険事業計画」の初年度となり、対前年度7千3百万円76.2%増加した。

平成29年度の決算額より、保険料調定額及び収納額は増額している。



スーパーサロン(宮山)



敬老会(布田)

## ■後期高齢者医療

保険料は4千万円、対前年度では7百万円の22.4%増加している。

実質収支・単年度収支とも黒字決算となった。

現在の被保険者は1,019名であるが、今後も増加傾向にあるので、認知症予防対策継続と健康増進への更なる取り組みが必要だ。

## ■中央簡易水道事業

震災復旧費用に4百万円支出した。

単年度は1千2百万円の赤字だが実質収支は1千6百万円の黒字だった。

今後集落再生事業の進捗状況に合わせて配水管布設が行われ、その後組合水道統合によって給水人口が増加し、上水道事業へ移行される。統合後の法適用企業会計として管理体制強化が必要だ。

## ■工業用水道事業

平成30年度は大きなトラブルもなく、中央監視システムにより施設の稼働状況も明確に把握でき、8事業所への給水を順調に行えたが、ポンプ等の不具合も一時的に発生している。年次計画を立て老朽化している施設の更新を行うこと。

質疑応答

キャンプ場復旧に疑問

【問】風の里キャンプ場改修が全棟でなかったのは、なぜか。

【企画商工課長】改修事業には、地方創生交付金を活用したが補助上限額を超えていた。優先する部分から改修した結果、指摘された2棟（B棟）が残った。

【問】残った2棟の改修はどうするのか。

【企画商工課長】財源については、苦慮している。

【村長】予算上出来なかった2棟は、今後補助金や有利な起債を検討しながら対応したい。全てのロッジが利用できる整備を行いたい。



交付金で改修工事が出来た棟

枯渇したお池さんの水が復活か

【問】揺ヶ池の水質検査結果はどうなっているのか。

【企画商工課長】年3回（5、6、7月）に行い、2回は不適合、1回は、適合の結果である。

【村長】飲料水不適合と思われるので、注意看板設置を指示した。



水質検査の結果を知らせる看板

地域おこし協力隊の積極的な活用を

【問】地域おこし協力隊は最大でも2名に留まっている。もっと多くの協力隊員を入れては、例えば児童のクラブ活動指導員として活用できるのでは。

【村長】部活動指導者等にも活用できればありがたい。認識不足の部分もあり勉強しながら進めたい。

増え続ける有害鳥獣の駆除について

【問】昨年だけで206頭が捕獲された。以前は、こんなに多くはなかった。しかし鳥獣は、増加傾向である。自衛捕獲を含め、対策を。

【産業課長】現在8名の猟友会の方を中心に捕獲を行っているが人的に不足しているので、農家にも地域ごとで捕獲する体制に参加していただきたい。

本年は、罾を10基購入し、新規免許取得者に無償貸与し、費用負担軽減に努め、新規参入者を増やし被害減少に努めたい。

防犯灯の設置区分は

【問】新興団地は、村外から移住された住民も多く、街灯は、行政が設置するものと認識された方々が多い。行政と集落との区分を明確に説明を。

【総務課長】村の方針では、原則として集落間の通学路は、行政

側で設置管理をし、集落内は、集落で行うこととしている。

文化財発掘調査結果は

【問】下小森埋蔵文化財発掘調査の経過と結果は。

【教育課長】昨年10月から本年1月末まで、公民館の北側農地を調査した。出土品は、現在保管しており、資料作成を本年度実施していく。

企業再生支援で不安が

【問】公共育成牧場跡地を貸付けている企業の親会社が企業再生支援を受け、再生に向けての報道があった。貸付について相談等あったか。

【総務課長】貸付企業より、一部報道について内容の説明を文書でもらっている。内容については、引き続き契約を継続していきたいとの表明であった。

また、今年度前期分の貸付料は既に納付済みであり、継続し契約を履行していくものと理解している。



(有)駒城に借地契約されている土地

# 平成30年度 特別会計決算

NISHIHARA VILLAGE

## 国民健康保険から

【問】実質収支は約9,000万円  
の赤字だが、単年度では赤字と説明あったが、国保は本年度から県下一円の連合会になったが、高齢者の増加とともに収支がマイナスになるのでは。

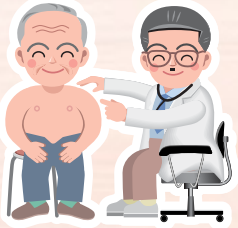
【保健衛生課長】県が運営主体になった事で財政的には安定していくと思われる。

しかし、高齢者の増加に伴って医療費の高騰は避けられず、重症化予防や特定検診率の向上等で、予防に力を入れ、抑制に努めたい。

【問】特定検診の473万8,000円は、医療費を抑えるための経費として妥当な金額か。

【保健衛生課長】これは検診受診者によって村のほうから支払った実績だ。

特定検診の  
勧奨については  
集団・個別検診  
を進め、各地域  
で行っているミニ  
デイ、スパーサ  
ロンの場所に出



向いて行って推進していきたい。

## 介護保険から

【問】認知症サポーター養成講座を受講し良い試みだと感じた現在の受講人数は。

【保健衛生課長】昨年の実績は小・中学生で164名・役場で48名・コモン区で21名・合計564名受講している。

【問】高齢人口は増加傾向だが、包括支援センターの人員は現在の4名体制で大丈夫か。

【保健衛生課長】昨年の相談件数は、総合相談で2,996件・権利擁護相談12件・ケアマネ相談支援213件である。

現状としては対応できている。今後相談件数・介護支援者の増加等になれば人員増を検討する。

## 後期高齢者から

【問】現在被保険者が1,019名で、大半は軽減を受けられていると推察する。今後団塊の世

代が対象年齢になって行くが、不安要素はないのか見解を。

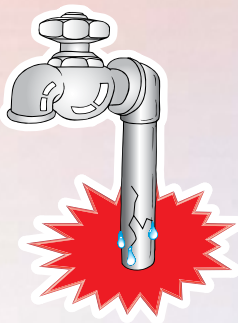
【保健衛生課長】財政運営は県連合会なので安定的に推移すると考える。

高齢者増は避けてと通れず医療費の抑制のため予防に力点を置く。

## 中央簡易水道から

【問】今後水道料金の値上げもあり得るということだが、現在の漏水分を通常支払いで換算すると約1,500万円程になる。漏水対策が先にするべきではないか。

【建設復興課長】漏水に関しては昭和時代の埋設管が影響していると思う。現在は減少に向けて各集落の本管替えを順次取り組んでいる。単価の件は加入が増加した場合各水道施設の減価償却等の関係で検討しているが、まずは漏水対策である。



## 『監査の審査意見書』

各会計決算並びに基金とも  
に計数に誤りはなく、よく  
整理され会計経理は正確  
と認めた。

地震からの復旧・復興に  
多額の事業をしながらも後  
世に負の遺産を残さぬよう  
財源確保に尽力された。

その結果実質収支額6億  
8千万円余を確保したこと  
は大きな成果である。

近年は毎年各地で大災害  
が発生している。国が進め  
る国土強靱化対策の計画が  
必要になってくる。

西原村も防災拠点整備計  
画が予定されているが、更  
なる財源確保及び災害に備  
えた防災教育に努力され準  
備を進めてほしい。



河上 勝彦 監査員



## ◆専決処分(第4号)

1,000万円追加……………	総額69億1,622万円
主な歳入 繰入金……………	1,000万円 財政調整基金繰入金
主な歳出 総務費……………	421万円 役場庁舎空調設備修繕工事
土木費……………	495万円 仮設歩道橋整備(大切畑ダム県道沿い)

## ◆(第5号)

11億2,061万円追加……………	総額80億3,683万円
主な歳入 地方交付税…△	1,763万円 普通交付税の減額、特別交付税措置の増額
国庫支出金……………	2,801万円 公共土木施設災害復旧費負担金(現年度)
県支出金……………	9,581万円 農地等災害復旧費県補助金(現年度)等
財産収入……………	4,281万円 小規模住宅地区改良事業移転用宅地売り払い
寄付金……………	1億8,000万円 ふるさと納税寄附金
繰越金……………	6億146万円
諸収入……………	1億1,961万円 震災復旧緊急対策経営体育成支援事業補助金返還金等
村債……………	3,990万円 公共土木施設災害復旧事業債等
主な歳出 総務費……………	7億7,886万円 財政調整基金積立金・ふるさと納税寄付金 返礼品関連
農林水産業費……………	7,854万円 震災復旧緊急対策経営体育成支援事業補助金返還金
災害復旧費……………	1億549万円 農地等・道路橋りょう災害復旧工事
公債費……………△	6,145万円 財政融資資金元金
予備費……………	1億1,193万円

## ◆その他の議案

- 議案第74号／西原村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
- 議案第75号／西原村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第76号／西原村中央簡易水道給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第77号／西原村工業用水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

いずれの議案も可決!!

## 質疑応答

### 《議案第74号》

【問】会計年度任用職員制度の導入に伴い、今勤めている方が辞めた時、公務に支障はないか。

【総務課長】今後関係課長等への説明、更に今働いている方々への説明も丁寧に行い、この制度の周知徹底を図ってきたい。

### 《議案第78号》

#### 一般会計補正予算

#### 建設組合の寄付金で送迎バスを購入

【問】指定寄附金は、どのような指定の寄附金があったのか。

【総務課長】西原村建設事業組合より、村の送迎車両購入等に役立てていただきたいと申し入れがあった。

【問】購入する車輛は。

【総務課長】マイクロバス1台と10人乗りワゴン1台である。

【村長】10人乗りワゴン車は河原小学校の児童が少ないので、山西校区からの送迎等に利用したい。

【問】不妊治療は高額な費用がかかる補助金はどうしているのか。

【保健衛生課長】不妊治療(一般・

特定)においては、県・村の補助金でかかった費用の全額が対応可能な予算措置である。更に高額な治療をすれば、個人負担が必要になるので、負担については、協議し検討していく。



# 令和元年度特別会計補正予算

## ◆国民健康保険特別会計

6,006万円追加……………総額9億7,493万円  
平成30年度繰越金により増額。

## ◆介護保険特別会計

6,346万円追加……………総額8億1,887万円

主な歳入	支払い基金交付金…233万円	介護給付費交付金	
	県支出金……………919万円	介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金	
	繰越金……………5,193万円		
主な歳出	総務費……………919万円	公民館等を介護予防拠点としての整備改修に対する補助	
	諸支出……………1,096万円	介護給付費及び地域支援事業費の返還金	
		316万円	一般会計からの繰り出し分の返還
	予備費……………4,013万円		

## ◆後期高齢者医療特別会計

358万円追加……………総額1億5,867万円  
平成30年度繰越金により増額

## ◆中央簡易水道事業特別会計

849万円追加……………総額1億2,923万円

主な歳入	繰越金……………83万円	
	繰入金……………759万円	基金繰入金
主な歳出	水道事業費……………849万円	本管布設工事

## ◆工業用水道事業会計

収益的収入及び支出	支出…250万円	人事異動に伴い給与等の増額
	△250万円	予備費
資本的収入及び支出	支出…568万円	小牧2号水源井戸の更生工事

【問】文化財保存管理費補助金  
増が575万円あるが、どこか。  
【教育課長】小森神社、宮山神社  
の改修費の不足分である。  
【問】鳥子工業団地内村有地樹  
木伐採業務委託の場所と目的は。  
【企画商工課長】鳥子工業団地入口の3差路右側で、  
隣接家屋へ支障をきたしている  
部分である。  
【問】大切畑ダムの汚泥処理と  
土の仮置き場の対応は。  
【復興建設課長】ダム事務所の説  
明では、ダム内に溜まった泥の搬  
出は一切行わず、汚泥や泥水等は、  
ダム内で石灰等を混ぜて含水比  
を減らし、活用すると聞いている。  
萌の里西側の仮置き場について  
は、外部からの搬入土の水分調整  
や粒形、粒度を調整するために  
借りるとのことだ。また仮置土  
の下にシートを張り、表面水は、一時溜めて上水だけを  
流す対策を考えていると聞いている。  
【問】ふるさと納税の寄附金が補正1億8,000万円  
と増額されているがどうしてか。  
【企画商工課長】ふるさと納税寄付金の増加の要因は、  
返礼品が県内人気ランキング1位、2位の商品等で増  
えていると思われる。昨年同時期で比較すれば、約5.4倍  
になっているため今回補正した。



鳥子工業団地入口の3差路右側



修復中の宮山神社

# 一般質問

堀田 直孝議員



## 東海大学農学部新キャンパス開設に伴う本村の受入れは？

村 長／学生さんに来てもらう（じやうじゆ）でのメリットは大きい!!

### 東海大学への協力体制の大切さとそのメリットについて

【堀田】東海大学農学部が令和4年度までに東海大学宇宙情報センター内に開設するとのことだが、西原村としては、地域資源の活用や産業振興、人的資源、教育等の発展に取り組みたいか。

【村長】新キャンパスは西原村にも近く、村には農地や原野等の村の資源がある。何らかのアクションを多めに検討したい。

【教育長】大学生の活用への期待として、居住や家庭教師、子育てボランティア、ふるさと塾キャリア等が考えられる。

東海大学との連携として、大学生主催のアトラクションへ参加し、子どもが学びの意欲を養ったり、地域防災に協力いただいたり出来るかと思う。

【堀田】南阿蘇村で調査を行ったところ、約800名の学生が居なくなつたことにより、南阿

蘇村に入る交付税が、一億五千万円程減少している。これは西原村の法人住民税と同額である。税収では、固定資産税、個人住民税、軽自動車税の減額があった。労働力としての学生の貢献度が大きく農家の働き手、家庭教師、ファームランドの人材不足が生じているなどかなりのデメリットが生じたとのことだが、本村としてはどう考えるか。

【産業課長】農業に良い影響があると思う。農地の活用については、東海大学の南阿蘇フィールドとの兼ね合いもあるが、シルバークラスの人材センターの人手不足を補う上で学生さんのアルバイトが期待できる。

【企画商工課長】益城町の新キャンパスの予定地は道より南側は農業振興地域、近隣は空港関連区域になつていて、アパート等の建設には規制があるが西原村は規

制がなく有利である。  
【税務課長】新キャンパス開設で規制のない西原村の開発があれば、固定資産税、所得増での住民税の増加が見込まれる。

【堀田】東海大学の学生誘致することはかなりのメリットがある。西原村は特徴を生かし、大学に貢献する協力体制を持つことが大事ではないか。また、通学する学生がふえることにより、減便されてきた産交バスのたかもり号の収益が増えれば増便され、西原村から熊本市内の高校へ通学する生徒の利便性も良くなるのではないか。

【村長】学生さんがどれだけ西原村に来るかかわからないが、メリットとしては、西原村に来て頂ければそれなりの交付税収入が見込まれる。また、アパートを建てる場合は、家賃収入、固定資産税増収さらに、村内で飲食をし

たり、日用品等の買い物をするこ  
とにより、消費も増えると思う。  
できるだけ西原村に住んで頂き  
たいと思っている。



東海大学宇宙情報センター



規制のない西原村の農地



# 一般質問

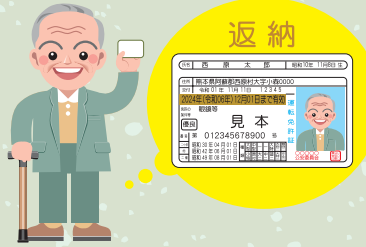
山下 一義議員



## 高齢者運転免許証 自主返納について

【山下】高齢者による交通事故が多発しており免許証を自主返納されている方も多くなっている本村での返納は大変不便である。返納された方への対応は。

【村長】西原村では、高齢者等の福祉増進に寄与することを目的に、タクシー料金補助事業を行っている。利用条件は、75歳以上で車の運転ができない方を対象、1枚500円券を最大年間60枚発行している。免許証自主返納者においても、基本的にこの福祉タクシー券を利用していただきたい。この対策



が自主返納者へのサポートとなり、返納を促進し、高齢者の事故が減少すればと考える。

## 宅地耐震化 推進事業について

【山下】宅地集落再生事業の進捗率は現在どれくらいか、又、自宅再建できる時期はいつごろか。

【村長】宅地耐震化推進事業は、発注率が83%、小規模住宅地区等改良事業は、100%の発注を終えている。宅地耐震化推進事業では、未発注箇所が10件あり、8件は新規採択案件、残り2件は防災区域設定時に必要な同意書が取れていない。年内12月末までには全ての発注を終える予定。

全集落の宅地復興完了予定は、令和2年の秋ごろを予定。建築

の契約をされている方に関しては、遅くとも令和2年3月までには完了し、その他の擁壁、道路舗装、水道・消防施設、公園整備等を翌年の10月までに全て完了する予定だ。

法が少しずつ違うことが判明し、全て設計を発注した。そのため予定の工程よりも工事着工が遅れ、工期は12月20日までとしている。入居されている世帯の改修は居住されたまま改修工事を行えるよう個別に訪問し日程調整を行う。転居等も含め、できる限り住民の方々のニーズにお応え出来るよう進めていく。

【復興建設課長】各集落全体の8月末時点での進捗状況は、古閑集落45%、畑・風当集落60%、下小森集落35%、上布田集落45%、下布田集落35%、この進捗率は、工事請負費に対する進捗率で、工期とは比例していない。

【山下】木造仮設住宅の改修工事は7月末完了と聞いていたが、未だに改修工事が進んでいないその理由は。

【村長】震災後、急ピッチで木造住宅を完成させるため木造住宅20棟はそれぞれ別の事業者との契約であった。

今回の改修工事で二棟二棟の寸



古閑地区の集落再生

## 高齢者への運転免許証自主返納後の対応は？

村長／自主返納者への補助サポートを実施!!

## 宅地耐震化推進事業の進捗状況は？

村長／年内発注の完了予定!!

# Medipolis

Medipolis Medical Research Institute  
Medipolis Proton Therapy and Research Center

## 総務福祉委員会研修レポート

### 切らずに治すガン治療!!



巨大な陽子線照射装置

堀田 直孝

10月14日から2日間で3月定例会一般質問(ガン先進医療における助成制度の導入)に基づき鹿児島県への先進地研修を行った。初日には鹿児島県指宿市にある一般社団法人 メディポリス国際陽子線治療センターの研修を行った。

現在では2人に1人はガンになる時代となり、これまでのガン治療は手術・抗がん剤治療等何らかの痛みを伴う辛い治療が強いられていました。しかし、ここの粒子線治療は体にメスを入れることなく、痛くも熱くもなく、点滴などのチューブ類も一切付けることなく、一回の治療時間も15分から20分で済み、これを8回~20数回粒子線を照射するものでした。治療のメリットとして、①スケジュール通りに治療が完了できる。②仕事や日常生活を続けながら治療が可能。③高齢者にも優しく安全に治療できる。④治療後の社会復帰が楽である。と4つの特徴がありました。

ここでは、平成23年の開設以来3,300件以上の治療実績があり、ガンの種類も頭頸部腫瘍・前立腺ガン・骨軟部腫瘍・小児ガン・肺ガン・肝臓ガン・胆管ガン・腎臓ガン・食道ガン・早期乳ガン等に対応しています。治療費が昨年までは健康保険等の適用がなく、実費の300万円が必要とされていたが、昨年4月より前立腺ガン・小児ガン・頭頸部腫瘍・骨軟部腫瘍は健康保険が適用され、誰もが治療が受けられるようになり、ガンが発症してもこの粒子線治療を加えた治療の選択肢が増えたことを村民の皆さまに周知することが必要と感じました。

翌日は、鹿児島県庁を訪れ、県が取り組む **\*粒子線ガン治療費利子補給事業** **\*若年末期ガン患者に対する療養支援事業**の二項目についての研修を行った。

粒子線ガン治療費利子補給事業については、粒子線治療も昨年度から一部健康保険の適用があるものの肺ガンを始めとする殆どのガン治療は実費300万円程の高額な治療費が必要となるが、この治療費を金融機関から借入した場合の利子の補給をするという事業でした。

若年末期ガン患者に対する療養支援事業については、在宅療養を行う40歳未満の末期ガン患者は、介護サービスが受けることが出来なく、多額の費用負担が強られるが、この事業を行うことにより、介護保険なみのサービスが受けられ、経済的な負担、身体的・精神的な苦痛を緩和するものであった。この事業は鹿児島県内43市町村の内30の市町村が実施している事業であり、本村でも末期ガンと診断を受けた場合でも、患者・家族に対する療養支援事業の整備に向けて必要な事業ではないかと思われました。

両日の視察研修を行ったうえで、今後、日本人のガン発症率は益々増えるのは確実であり、ガンに罹った場合でも粒子線治療等の技術も進みガンは治る病気になりつつも早期発見でなければならない。健康診断を受けることの重要性を痛感した研修となりました。



鹿児島県庁にて



陽子線発生加速装置



陽子線治療室

# 益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会報告

令和元年8月23日(開会)

令和元年第2回益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会が開催された。

平成30年度益城、嘉島、西原環境衛生施設組合一般会計決算……全員賛成認定

【歳入】 予算現額 6億638万2千円 調定額及び収入済額 6億1,170万5423円

【歳出】 予算現額 6億638万2千円 支出済額 5億6,980万753円

歳入歳出 差引残額 4,190万4670円

令和元年度益城、嘉島、西原環境衛生施設組合一般会計補正予算……全員賛成可決

◆平成30年度組合決算に伴う繰越金の確定により、補正額**3,190万4千円**を追加、歳入歳出予算総額を**5億6287万千円**とする。

## 《不燃物処理施設火災報告》

令和元年8月7日 不燃物処理施設受入れコンベアがスプレー缶等のガス・残留物の発火により延焼し、重大な被害が発生した。

一言：ゴミ出しのルールを守らずに安易にごみを出すことにより、重大な事故が発生し、莫大な費用が必要となります。その事により、無駄な税金を支出しなければならなくなります。住民一人一人がゴミ出しのルールを守り注意することが重要です。



火災が発生した不燃物処理施設



よって  
YOTTE IKINASSE  
いきなっせ  
西原村発信



Healing observatory

## 癒しの展望!!

西口 義充



グリーンロード沿いにある展望所

# Nishihara Village

私たちの西原村は、自然環境にも交通便にも恵まれ生活するにはとても住みやすい場所です。その自然の中でとても眺めの素晴らしい空間・心が癒される所が沢山あります。

代表的な場所としては扇坂展望所一帯、風の里キャンプ場の展望所、俵山展望所、その他に河原方面においては、小野地域、滝地域から眺める景色、そんな中でも私の一番のおすすめはグリーンロード沿いにある展望所や草原からの眺めです。ここから見る風景は絶好の眺めです。

天候が良い日には熊本市内全域はもちろんの事、有明海や八代海から山鹿方面まで見る事も出来ます。

夜景もとても綺麗で、夜空を見上げると近くに星が見えてとても心が癒される場所です。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。又、西原村の観光にも活用出来るのではないのでしょうか。

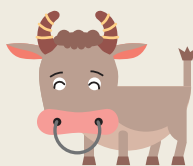


グリーンロード沿いの展望所



# 職場から SHOKUBA KARA KONNICHIWA こんにちは

このコーナーでは、西原村活性化のため、村内の事業者を今後も紹介して参ります。



## トマト栽培

永田 暁洋 さん

就農時の経営規模／トマト10a  
現在の経営規模／トマト25a WCS1ha

平成27年に就農して今年で就農5年目になります。実家が甘藷農家ですが、就農するにあたり、まずは自分の力で経営を行いたかったので、阿蘇市でトマト栽培を始めました。阿蘇市まで通うのは大変ですが、年々収量や売上も上がっており、それ以上にやりがいを感じています。もちろんまだまだ上手くいかないこともあります。これからもっと経験と勉強を重ねて経営を向上させて行きたいです。

実家の甘藷については現在収穫の手伝い程度しかできていないので、栽培技術を覚え将来的には西原村で甘藷栽培も行いたいと考えています。

また現在JA青壮年部の活動も行っている。青壮年部の一員としてみんなで西原村の農業に貢献していきたいです。



## 繁殖牛飼育

野田 誠二 さん

就農時の経営規模／繁殖牛30頭  
現在の経営規模／繁殖牛55頭

就農して5年目を迎えます。就農する前はサラリーマンでしたが、実家が酪農家であり、農業が身近な存在であったことや自分自身で農業経営をやってみたかったこともあり就農しました。就農する際には農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金)等の国の支援事業を活用しました。就農2年目には震災により牛舎が倒壊し、再建したりと色々大変でしたが、地域の方、周りの先輩等、再建に携わっていただいた方々のおかげで今を迎えることができています。

現在は黒毛和牛の繁殖母牛を55頭飼養しています。今後は70頭まで増頭したいと考えています。これからも周りの仲間や先輩方、家族に感謝を忘れず努力し頑張っていきたいと思います。新規就農者には色々な支援事業があり、私はかなり助かりました。これから就農を考えている方は是非活用してほしいです。



### 編集後記

ラグビーワールドカップが終わろうとしている。

日本代表は、史上初のベスト8に入り、チーム目標は達成された。大会前にこの成績を予想した日本人は少数派であったでしょう。

「この快挙は、ワンチームを掲げ、代表チームのために、家族や会社など全てを犠牲にし、成り立った。」との選手のコメントを聞いて、改めて代表チームにおめでとう、そして感動をありがとうと伝えたい。本村も「震災からの復興」への道も終盤を迎えた。

チーム西原もワンチームとなり、目標達成に向け心一つになり頑張ります。

文責／宮田勝則

### 広報委員

- 委員長 坂本隆文
- 副委員長 中西義信
- 委員 林田直行
- 委員 村上高志
- 委員 堀田直孝

### 発行責任者

- 議長 宮田勝則